

「夢と感動のスポーツ推進協創プロジェクト」 平成27年度第2回推進会議の概要について

「夢と感動のスポーツ推進協創プロジェクト」の平成27年度第2回推進会議を平成28年3月24日（木）に開催しました。

第2回推進会議には、6名の委員のうち5名の方々にご出席いただくとともに、会議の進行を補助するファシリテーターとして国立大学法人三重大学教育学部教授の杉田 正明氏にご出席いただきました。

会議の概要は、以下のとおりです。

「夢と感動のスポーツ推進協創プロジェクト」委員及びファシリテーター

※敬称略、カッコ書は役職

<委員>

清水 栄嗣（NPO法人伊賀フューチャーズクラブ理事長）

辻 正敏（株式会社辻工務店 取締役社長）

松本 真紀（バドミントン社会人クラブチーム小俣クラブ 選手）

堀越 英範（三重県高等学校体育連盟 理事長）

前田 浩司（三重県障害者スポーツ協会 会長）

※北裏委員はご欠席

<ファシリテーター>

杉田 正明（国立大学法人三重大学教育学部教授）



<推進会議の進行概要>

会議の進行概要は以下のとおり

開会 15:30
スポーツ推進局長あいさつ

事務局からの報告

- ・夢と感動のスポーツ推進協創プロジェクトについて
- ・平成27年度第1回夢と感動のスポーツ推進協創プロジェクト推進会議の概要
- ・プロジェクト関連事業の取組結果について
- ・平成28年度スポーツ推進関係予算について

プロジェクト推進についての意見交換

- ・スポーツによる地域の活性化について
- ・スポーツを支える人づくりについて
- ・障がい者スポーツの推進について

閉会 17:00

（事務局からの報告）

冒頭、村木スポーツ推進局長から委員の皆さんに本日の会議の開催趣旨について説明しました。

また、平成27年度第1回推進会議の概要、プロジェクト関連事業の取組結果、平成28年度スポーツ推進関連予算について、事務局から説明しました。

（プロジェクト推進についての意見交換）

続いて、杉田教授の進行により、プロジェクトの推進に向けて、次の3つのテーマに基づき意見交換を行いました。

- スポーツによる地域の活性化について
- スポーツを支える人づくりについて
- 障がい者スポーツの推進について



※委員からの主な意見

○スポーツによる地域の活性化について

- 総合型地域スポーツクラブについては、地域の人々に知ってもらうための取組を進めていくべきである。クラブがその地域になくてもならない存在となっていけば、地域の活性化や地域のコミュニティ形成にもつながっていくと思う。
- マスコミを活用して、三重とこわか国体の開催や県内選手の活躍等といった三重県のスポーツをPRしていくことが大切である。

○スポーツを支える人づくりについて

- 女性アスリートサポート事業については、他県ではあまり見られない良い取組なので、継続し、発展させていってほしい。また、相談窓口については、周知が必要である。
- 平成30年に本県で開催される全国高等学校総合体育大会において、学生が大会のサポートやボランティア活動に参加し、地域全体を巻き込んでいくことで、地域の活性化へとつながっていく。また、自分たちが関わった大会ということで、学生にとっても大きな財産となる。

- 強化指定事業について、強化費の支援を受けているクラブチームや選手たちが、地域に還元できる活動を行う仕組みが出来ていくといい。

○障がい者スポーツの推進について

- この4年間で、障がい者スポーツの普及が進んだと感じている。小中学校で障がい者スポーツ教室を行っており、健常者の障がい者スポーツに対する理解促進につながっている。
- 平成33年に全国障害者スポーツ大会を三重県で開催する際には、大勢の障がいを持った方々が来県するため、対応ができる人材の確保が大切である。

など

今後の対応

推進会議は今回で終了となりますが、いただいたご意見をふまえて、本県スポーツ推進の取組を進めてまいります。

